

日本植物学会第 79 回大会 ロゴマークデザイン

氏名：水多 陽子

住所：〒464-8602 名古屋市千種区不老町 名古屋大学 大学院理学研究科

所属：名古屋大学理学研究科 ERATO 東山ライブホロニクス



日本植物学会第79回大会 研究発表記録



Proceedings of the 79th Annual Meeting of
the Botanical Society of Japan, Niigata 2015

2015年9月6日(日)～9月8日(火)

朱鷺メッセ：新潟コンベンションセンター

<http://bsj.or.jp/bsj79/>



日本植物学会
The Botanical Society of Japan

研究発表記録電子版へのアクセスはこちら



URL: http://bsj.or.jp/bsj79/ebook_download.html

公益社団法人日本植物学会第79回大会実行委員

大会会長・募金担当：竹能 清俊

実行委員長・募金担当：西川 周一

庶務・会場担当：加藤 朗

会計担当：岩崎 俊介

懇親会・ミキサー担当：林 八寿子

プログラム幹事：酒井 達也／西村 泰介

シンポジウム・関連集会担当：上井 進也

託児室担当：石崎 智美

ホームページ担当：及川 和聡

公開講演会担当：崎尾 均

高校生企画担当：志賀 隆／五百川 裕

プログラム委員：酒井 達也／西村 泰介／西川 周一／加藤 朗／岩崎 俊介／林 八寿子／
上井 進也／石崎 智美／及川 和聡

会場委員：岩坪 美兼／蒲池 浩之／唐原 一郎／小藤 累美子／濱田 達朗

新潟大会シンボルマークのユキツバキ

今大会のロゴには新潟県を代表する花の一つユキツバキ (*Camellia rusticana*) をシンボルマークとして用いた。ユキツバキは新潟県を中心とした日本海側多雪地帯の低い山地に分布する。各地に広く分布するヤブツバキの亜種または変種 (*Camellia japonica* var. *decumbens*) とされることもある。枝がしなやかなのが特徴で、冬季雪に埋もれても折れることなく地面に臥し、雪が解ければ元通りに起きあがる。これは雪の深い環境に適応した形質であり、新潟県の県民性に通じるところがある。ヤブツバキと比較して、花卉は朱色で開き気味であり、多数の雄しべは花糸が黄色で基部が筒状に合着することがない。ヤブツバキとの雑種や園芸化されたものもあり、同定は少々難しい。水多陽子さん (名古屋大学) のデザインしたこのロゴではユキツバキの特徴がよく捉えられており、雪解け水をあつめて悠々と流れる信濃川を背景に、春の訪れとともに花開く姿が艶やかに表現されている。学会賞副賞のトロフィーにもユキツバキがデザインされた。表紙写真のユキツバキは元新潟大学理学部教授・石澤進先生の撮影による。

(解説：大会会長・竹能清俊)

